ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health , Labour and Welfare

Press Release

長野労働局発表（29-27）
平成 29 年 8 月 1 日

担当
長野労働局職業安定部職業安定課
課　　長　　中村　広文
課長補佐　　中沢　忠雄
電話：026-226-0865
Fax　：026-226-0157

ハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価の結果

～　平成 28 年度の総合評価の結果及び平成 29 年度の目標を設定　～

長野労働局（局長：石田茂雄（いしだしげお））では、継続的な業務改善によるハローワークのマッチング機能の強化のために実施してきた平成 28 年度ハローワークのマッチング機能に関する総合評価の結果と、新たに設定した平成 29 年度目標を報告します。

全国の労働局・ハローワークにおいては、ハローワークの機能強化を図るため、ハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果に基づく業務改善を平成 27 年度から一体的に実施しています。（長野労働局ホームページ掲載。別添１参照）

長野労働局における平成 28 年度の取組への総合評価の結果を報告します。
局内 12 所のハローワークの総合評価結果は、「良好な成果」3 所、「標準的な成果」9 所で、全体的として標準以上という結果となりました。
この結果を受けて各ハローワークでは、各種の取組の結果及び業務改善の実施状況等を「就職支援業務報告」としてまとめており、また、平成 29 年度における目標値を設定し取り組むこととしましたので併せて報告します。（長野労働局ホームページ掲載。別添２及び別添３参照）

長野労働局及び各ハローワークでは、平成 28 年度の総合評価の結果を踏まえ、平成 29 年度の目標達成と、利用者サービス向上のための中長期的な業務の質の向上や継続的な業務改善の強化に取り組んでまいります。

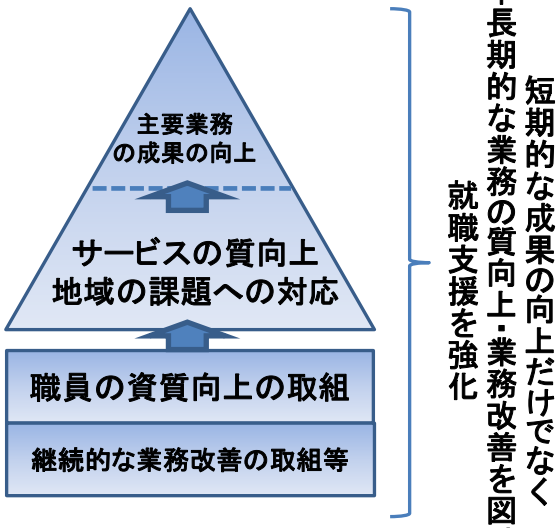
別添1

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

PDCAサイクルによる目標管理・業務改善の拡充

- 現行の取組（就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



ハローワークのマッチング機能の総合評価・利用者への公表

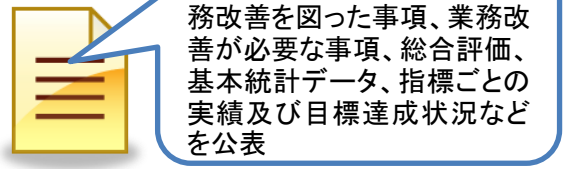
- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表

  →主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度央に、総合評価を年度終了後に公表

- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。

  →労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価

- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。



- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。

①評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導

②改善計画を作成、本省・労働局が重点指導（評価期間終了後）

③好事例は全国展開（評価期間終了後）
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

総合評価の構成

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務･取組を選択

全ハローワークで共通する評価（全所必須指標）

(1)主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

○ 就職者数
○ 求人充足数
○ 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2)補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

○ 満足度調査
○ 紹介成功率

ハローワークごとの重点的な取組の評価（所重点指標･所重点項目）

(1)所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

○ 障害者の就職者数
○ 正社員求人数
○ 生活保護受給者等の就職者数　など

(2)所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況を評価

○ 職員による事業所訪問の実施
○ 求職者担当者制の実施
○ 職員による計画的なキャリア・コンサルティング研修の受講
○ 好事例を導入した業務改善を実施　など

総合評価の方法

総合評価は年度単位で実施する。年度終了後に、ハローワークごとに、年度合計の指標・項目の実績をポイント化し、それを合算して、評価する。

①年度当初に定めた目標への達成状況を基に、指標ごとに、予め定められたポイント数の範囲内で、ポイントを付与する。

A指標の目標達成率 × A指標のポイント数 → ○○ハローワークのA指標のポイント

※目標達成状況によるポイントは、所重点項目を除く各指標（主要指標・補助指標・所重点指標）について計算。

②業務実績が例年より上回った場合に、ポイントを付与する。

※主要指標について、過去3年間の実績と比較し、過去3年間の平均を上回る場合にポイントを付与。

③所重点項目の実施状況を基に、ポイントを付与する。

※中長期的な観点から必要となる職員の資質向上のための取組や継続的な業務改善の取組を実施した場合にポイントを付与。

①～③のポイントを合計し、ハローワークごとに、総ポイント数を計算する。

類似するハローワークからなるグループ内で、総ポイント数等を比較し、評価する。

※労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分類。
※評価は本省で実施し、評価結果を労働政策審議会に報告。
※評価結果は、ハローワークにおいても、実績値、業務改善事項、総合評価結果（4段階）等をまとめて公表。

平成２８年度における総合評価結果総括

全ハローワークについて、各評価（類型）ごとの数は下表のとおり。
〔全国のハローワーク 428 所を対象
熊本労働局管内各ハローワーク（9 所）は災害等の影響により対象外〕

○　各グループごとに平均値を基準とし、平均値以上を類型１・2、平均値未満を類型３・４に区分
○　目標達成率 100%を満点とみなし、満点以上を類型１
（満点について、目標達成率が 100%以上の場合は満点を超える場合があり得る。）
○　グループ平均値の 80%未満のポイントとなったものを類型４
（規模が大きい１Ｇは平均値の 90%未満、2～5Ｇは平均値の 85%未満と、基準を高く設定）
により実施

	評　　語	ハローワーク数	
		全　国	長野県
類型１	非常に良好な成果	3	0
類型２	良好な成果	208	3
類型３	標準的な成果	217	9
類型４	成果向上のため計画的な取組が必要	0	0
		428	12

【参考】

評価グループ	満点	平均点
1G	1235	1112
2G		1089
3G		1086
4G	1220	1037
5G		1052
6G		1053
7G		1054
8G		1051
9G		1073
10G		1038
11G		1042

ハローワーク長野　就職支援業務報告（平成２８年度）　別添２

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、常用就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、紹介部門職員に求人者支援員が定期的に実施するお薦め求人のプレゼンで、意見交換を実施後、求職者の方へ求人情報の積極的な提供を行ったほか、紹介部門職員が計画的に事業所訪問を実施し、求人者支援員とともに求人票以上の詳細情報の収集に努めました。今年度から、詳細情報については、求人検索パソコンの求人票画面から、来所された方どなたでもご覧いただけるように工夫し、さらに待合フロアにファイルとして掲出し、好評を得ています。支援が必要と思われる方には求職者担当制により、応募書類の添削やマッチングによる求人情報の提供を集中的継続的に取り組みました。

特に雇用保険受給者に対しては、認定日に全員と職業相談を行い、当所で実施している独自セミナー7 種類への参加を積極的に働きかけました。中でも模擬面接、応募書類作成、アセスメントの３セミナーは年間 75 回開催し、定員を上回る 222 名が参加し、雇用保険受給者の早期再就職件数は目標の 1,132 人を上回る 1,157 人となりました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、所内表示がわかりにくいなどの意見をいただいたため、ポスター掲示、パンフレット類の整理など所内整美に努めました。

ハローワークを知ってもらい、今まで足を運んだことのないひとへの利用を進めるため、積極的に他機関のイベントに参加を行い、就職相談や求人情報の提供を行いました。有楽町駅前では長野への移住希望者の方に、市内のホテルでのイベントでは子育て中のママに、県による地域づくりの出会いの場ではシニアの方に、ハローワークを PR することができました。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

求人充足会議の充実や、紹介部門職員の事業所訪問により、わかりやすく、具体的な求人内容について心がけます。事業所の方とのコンタクトの機会を増やし、積極的なマッチングの実施により、早期に正社員での就職が実現できるよう努力いたします。

これまで紙ベースで提供をしていた障害者専用求人を、求人検索パソコンで閲覧できるよう検討いたします。

なお、在職求職者等平日中に当所を利用できない方を中心としてサービス提供時間の延長を引き続き実施します。

（４）その他業務運営についての分析等

当所管内は、サービス、販売、福祉関係の求人が多く、正社員求人の割合に比べ、パート、契約社員の割合が多い状態が続いています。平成28年度は、キャリアアップ助成金の活用により、非正規雇用労働者の処遇改善について、事業所へ働きかけを実施するなど、正社員求人の確保に努めた結果、目標とする10,333人分を上回る10,843人分を受理することができました。労働時間等働き方に注目が集まるこの機会に、各種助成金制度のご案内等正社員求人への転換や各種資料等の分析から求人要件の緩和を行い、さらに多くの正社員求人を受理できるように努めてまいります。

長野市生活支援課内に設置した福祉・就労支援コーナージョブ㊐ながの、もんぜんぷら座内にある長野新卒応援ハローワーク、ハローワーク長野マザーズコーナー等自治体と連携協力した事業を行ってまいりましたが、自治体とのより一層の情報交換に努め、ＵＩＪターン、ひとり親支援等の要請に積極的に協力し、ハローワークの強みを活かした地域の就職支援に取り組んでまいります。

２　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　特記事項

55才以上の方を対象とした「いきいき再活躍・再就職支援セミナー」を企画し、7月より８回開催しました。年齢層を絞った就活セミナーが好評で、毎回定員を上回る参加となりました。今年度から設置された「生涯現役就職支援窓口」の支援対象者数が当初伸び悩みましたが、セミナー開始とともに対象者数が増え、就職率も上向き、65.1%と目標の48.0%を大きく上回ることが出来ました。今後も他のハローワークの取組なども参考に、就職件数アップにつながるよう改善を図ることとします。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数
実績	4671 件	5286 件	1157 件	95.5%	99.2%	22.4%	20.8%	23.6%	315 件	628 件	93.3%	10,843 件	2,009 件
目標	4849 件	5634 件	1132 件	90%	90%	20.5%	24.9%	25.6%	308 件	709 件	88.5%	10,333 件	2,195 件
目標達成率	96%	94%	102%			109%	84%	92%	102%	89%	105%	105%	92%
(参考)過去 3 年度平均	5167 件	6025 件	1131 件										

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク松本　就職支援業務報告（平成２８年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「正社員求人の確保」と「確保した正社員求人の充足」を最重点事項として取り組みました。求人受理窓口において正社員求人の提出要請・非正社員求人から正社員求人への転換要請を強化するとともに、正社員求人に重点を置いた求人開拓等を実施した結果、正社員求人数は前年度実績値及び本年度の目標値を上回ることができました。

また、求人受理段階から充足の可能性を高める方策を取りまとめた「正社員実現のための取組フロー」を作成し、正社員求人の充足に向けた取組を実施しました。求人受理相談時に求人条件に該当する求職者数をシステムで検索し、さらに条件変更して再検索した場合の求職者数の変化を説明すること等により、求人条件の緩和を働きかけ、求職者が応募しやすい求人の確保に努めた上で、マッチングによる充足・就職対策に取り組みました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

多くの来所者に窓口相談による支援サービスを利用していただくため、総合案内における相談窓口への誘導・相談勧奨を強化するとともに、玄関フロアに案内板を設置、求人公開端末のトップ画面に案内を表示することにより、窓口利用の促進に取り組みました。

また、求人者と求職者の出会いの場である「ミニ面接会」（26 回）を開催する際は、求職者に対する窓口、セミナー等での周知を徹底するほか、館内放送を随時行うなどにより周知に努め、122 事業所と 387 人の求職者に面接の機会を提供しました。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

求人需要の高まりにより、管内事業所の求人充足対策が課題であることから、「正社員実現のための取組フロー」による正社員求人提出要請、確保した求人と求職者との更なるマッチング、「求人担当者制」等の推進により、求人充足率の向上に取り組みます。

求職者に対しては、「求職者担当制」、相談時における提案型求人情報提供、来所勧奨に重点を置いた求人情報のダイレクトメール等を実施し、窓口相談をサービスの重点に据えて就職の実現に取り組みます。また、当所の就職支援サービスを、より多くの求職者に利用していただくため、各種セミナー参加者の相談窓口への誘導、給付制限の対象となる雇用保険受給者に対する来所相談の勧奨等にも取り組みます。

（４）その他業務運営についての分析等

平成 28 年度は、「雇用保険受給者の早期再就職件数の減少率」が「受給資格決定件数の減少率」を大幅に上回りました。

これに対応するため、早期再就職のメリット、再就職手当の活用について説明を強化するとともに、給付制限の対象となる者の早期就職促進にも取り組みます。

また、所重点項目の取組が不十分であったことから、月・四半期ごとの進捗管理を徹底し確実な取組と必要な改善を図ることとします。

２　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　特記事項

マッチング向上のため、以下の取組を実施し成果をあげています。

・「正社員実現のための取組フロー」に基づき、求人者に対する求人条件緩和指導による求職者が応募しやすい求人を確保。
・求職者に求人情報を送付する際、「応募を希望しない理由」に係るアンケートを実施し、希望条件の再確認によるマッチング精度の向上。
・正社員求人を中心に事業所を選定した「ミニ面接会」を開催し、積極的な周知（館内放送等）により参加求職者を確保。
・受給者に対し雇用保険手続後早い段階で「アンケート（初回認定日確認表）」を実施し、受給者の意向を踏まえた職業相談を実施。
・求職者向けの「労働条件確認チラシ」を作成、職業紹介時に配付することにより、労働条件通知書の受領について周知・啓発。

４　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	障害者の就職件数	学卒ジョブの支援による正社員就職件数	マザーズ重点支援対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数
実績	5,835	5,696	1,495	95.5%	98.2%	25.0%	22.9%	22.2%	393	401	90.2%	12,913	2,721
目標	6,348	6,126	1,855	90.0%	90.0%	20.6%	26.6%	23.4%	384	407	88.5%	11,981	2,979
目標達成率	92%	93%	81%			121%	86%	95%	102%	99%	102%	108%	91%
（参考）過去3年度平均	6,566	6,443	1,839										

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク上田　就職支援業務報告（平成 28 年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、新規求職者が減少する中、目標達成に向けては求人充足に力点を置いた取組が最重要と考え、求人充足会議の内容の見直しから進めることとし、毎週２回実施し、1 回は各求人の充足支援手法の決定、１回は支援実施後２週間経過時点の進捗状況の確認を行いました。

また、6～7 社参加の求人説明会を 24 回開催し、平均利用者が 15.8 人（平成 27 年度は 1.2 人）、就職者が 56 人（平成 27 年度は 19 人）と大きな効果がみられ、利用者からは実施継続の要望があります。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、求人者の期待として「求人に対する紹介者数の増加」「厳選した紹介」などが高かったため、求人充足会議で求人の詳細情報の共有化とマッチングの強化、検討求人に対する取組状況の確認など、進捗管理の徹底に向けた改善を図りました。

併せて、事業所訪問や面接会参加案内の必要性なども検討するなどの改善も加えています。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

求人充足会議後、マッチングによる求人情報の提供方法としてＤＭを積極的に実施してきましたが、この効果が低く、ＤＭによる一方向の情報提供の在り方の検討を行い、求職者の詳細情報の把握と整理及び双方向担当者制によるマッチングの強化を図ります。

なお、求職者との相談においては、窓口体制・人員等に限りがあり、効率と効果を意識したバランスのとれた業務推進が重要であると考えます。

また、人手不足分野（介護・福祉、保育等）などを対象とした求人説明会を開催し、昨年度よりも開催場所を広げるなど早期に求人が充足できるように取り組みます。

（４）その他業務運営についての分析等

平成２８年度は、上田が舞台の中心となった「真田丸」の放映があり、地域に活況がもたらされた一方、この影響と思われるが新規求職者が前年度比で大きく減少し、4 月～12 月の就職・充足件数はともに目標を下回りました。1 月以降は目標値を上回り、年間目標の「就職件数 3,547 件」「充足件数 3,445 件」に対し、実績「就職件数 3,514 件」「充足件数 3,409 件」、ともに達成状況は 99％となっています。今後も、求職者ニ

ーズを的確に捉え、希望者が多い職種・業種の求人の確保に努め、求職者の呼び込みに繋げるとともに、求人票記載以上の事業所情報の提供を常に心がけ、紹介件数の増加が図られるよう取組を進めます。

2　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職に対する紹介率	障害者の就職件数	マザーズHW重点支援対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数	
実績	3,514	3,409	838	96.9%	99.0%	25.7%	22.5%	22.0%	204	91.4%	6,939	1,600	
目標	3,547	3,445	842	90.0%	90.0%	20.9%	26.2%	22.8%	153	88.5%	6,457	1,635	
目標達成率	99%	99%	100%			123%	86%	96%	133%	103%	107%	98%	
（参考）過去3年度平均	3,730	3,640	871										

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク飯田　就職支援業務報告（平成２８年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

当所では、本年度主要指標である「(1)就職件数（常用)」、「(2)充足件数」「(3)雇用保険受給者の早期再就職件数」の目標達成を最重要と考え、各取組の中心には、①「双方向性による求職者担当者制の積極的な実施」、②「職員等による事業所訪問の実施」、③「ミニ面接会の実施」を最重要事項として取り組んだ。第１三半期の就職件数及び充足件数実績が目標値を下回ったため、第２三半期において担当制の対象開始者数を目標数に上乗せし、積極的に担当制の取組みを行うことを職員に意識づけた。新規求職者が減少する中で特に滞留する求職者に対してのじっくり相談や求人情報提供、応募書類の添削等を積極的に実施した。(年間実績：①「双方向性による求職者担当者制の積極的な実施」対象者 499 人、就職 367 人、就職率 71.7%、②「職員等による事業所訪問の実施」職員 9 人、138 社、③「ミニ面接会の実施」年 12 回開催、就職 15 人）各取組は、いずれも目標をクリアしたものの、「(1)就職件数（常用)」、「(2)充足件数」の主要指標は、目標達成できなかった。また、雇用保険受給者の早期再就職促進については、受給者の初回認定日後の早めのタイミングで所独自のセミナーを月２回以上、40 人以上の受講を目標に実施した。結果、年間で 28 回、受講者 588 人となり目標をクリアし、早期再就職が図られた要因と考えられる。

前年度、平成２７年７月１日に新規開所となったハローワーク飯田マザーズコーナーの業務運営が確かなものとなるよう「マザーズ事業の担当者制による重点支援対象者の就職率」を重点目標とした。利用者確保を図るため、同一建物内にある「飯田市こども家庭応援センター（ゆいきっず)」及び長野県女性就業アドバイザー等と連携し「託児付き就職支援セミナー」を 6 回実施し、参加者は 77 人（うち託児利用 55 人）となった。また、円滑な業務を行うため本所から応援を行っており、業務実績及び業務運営は良好であった。

②　中期的な職員の資質向上に向けた取組

組織全体の資質・能力の向上を図るため、「来所者で関わり方が難しい方への対応」について所長が講師となり研修を実施した。また、業務研修として労働大学校受講の伝達研修を担当職員が行った。そのほか「労働基準法研修」及び「税に係る基礎知識」を労働基準監督署監督官、税務署担当官を外部講師として研修を実施した。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、利用者満足度において、求職者 98.1%。求人者 95.9%と 90%以上とした目標値は達成できたが、個別項目では、所内案内表示、見やすいポスター掲出、わかりやすい陳列等の項目が低調であったことから、従来から取組んでいる項目ではあるが、当該事項の

改善のため、所内に、「案内表示、展示物陳列掲示等向上委員会」を設置し、改善事項の検討並びにその実施を進めた。検討によりパンフレットの陳列を利用者毎として変更を行った。また、アンケート自由記載欄からの意見として、以前から窓口職員間での相談技法、接遇等に差異を指摘されていることから、「来所者で関わり方が難しい方への対応」や「労働基準法研修」及び「税に係る基礎知識」といったことについて相談窓口職員の知識向上や接遇等のレベルアップと標準化を目的とした研修を行った。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

利用者アンケートの求人者の自由記載欄にも、多くの求人充足に関する要望が挙げられている。管内の人手不足の分野である建設分野、介護分野等からの要望も強く寄せられている状況にある中で、当所独自開催のミニ面接会や長野労働局と長野県看護協会の共催による就職面接会への積極的な周知・参加勧奨を行い就職支援について積極的な取組を進めていく。また、このまま求職者の減少が続く場合は新規求職者確保について対策を実施する。

総合評価結果において「①必須指標＋重点指標」はグループ平均ポイントを上回ったが、「②所重点項目」では平均を下回る結果となった。

この結果を踏まえ、特に求職者ニーズの高い職種での求人開拓の推進及び「求人に対する紹介率」「求職者に対する紹介率」が向上するよう能動的なマッチングを強化して各目標指標の達成に努める。また、地元自治体が最も重要施策としているＵ・Ｉターン事業について一層連携が図られるよう様々な場面で情報・意見交換等を行い要望等あれば地方自治体が実施する事業へ参画する。

職員研修について、キャリアコンサルタント有資格の職員等を講師とした研修や局主催の研修参加、外部講師による研修を積極的に実施し職員の資質の向上を図る。

（４）その他業務運営についての分析等

所管内の正社員求人については、新規求人に占める正社員求人の割合は長野労働局全体が 35%程度の数値に対して、当所の平成 28 年の月平均は 45.4%と非常に高くなっている。しかし、正社員求人の内容を見た場合、専門的技術、知識、能力を求めるものが多く職種的なミスマッチに加え、不採用理由等において求職者が採用レベルに達していないとの状況がある。このためミスマッチを解消するため職業訓練機関等と連携し、正社員求人が多く人手不足分野の介護、建設関係への訓練誘導を積極的に行い充足が図られるよう取り組んでいく。

また、平成２８年度において、リニア中央新幹線の開業に向けて南アルプストンネルが工事着手となった。また、中間駅が飯田市に設置されることに伴い、飯田市をはじめとする管内の自治体等においては、将来の地域発展や産業振興をいかに進めるか検討を進めている。現段階ではハローワーク業務に直接的な影響等は生じていないが、国家的なプロジェクトであり一時的な他管内からの企業進出や労働力需要等が考えられることから、アンテナを高くして情報収集しながら必要な場面では、地方公共団体や商工団体と連携を図っていく必要がある。

2　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	マザーズ重点支援対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数	開拓求人の充足数
実績	2,898	2,802	784	95.9%	98.1%	34.0%	22.1%	22.2%	98.8%	6,944	1,387	963
目標	3,046	2,904	766	90.0%	90.0%	30.0%	25.3%	25.2%	88.5%	6,090	1,498	777
目標達成率	95%	96%	102%			113%	87%	88%	112%	114%	93%	124%
（参考）過去３年度平均	3,237	3,093	742									

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク伊那　就職支援業務報告（平成２８年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「就職件数」の目標達成のためには、職員によるマッチング機能を高めることが重要であると考え、求職者担当制及び求人担当制による就職（充足）支援に取り組みました。

求職者担当制による就職支援では、早期に就職が必要な方や再就職に向けてハローワークからの支援が必要と判断される方を中心に、正社員求人を中心に積極的なマッチングによる求人情報の提供を行い、ハローワークへの来所を促して職業相談・紹介状の交付を行うとともに、応募書類（履歴書、職務経歴書）の作成支援を積極的に行いました。（年間担当者数 393 人、就職件数 259 件、就職率 65.9％）

また、求人担当制による充足支援では、正社員求人を中心に応募条件の緩和を提案して応募者を確保するとともに、求人事業所を積極的に訪問して事業主のニーズをお聞きして適格者とのマッチングに取り組みました。（年間担当求人数 144 人、充足数 82 人、充足率 56.9％）

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートの結果では、当所は「小規模面接会の案内」、「見やすいポスター提示」、「わかりやすい陳列」についてご指摘を受けたので、小規模面接会（伊那チャレ面接会）の案内を玄関ロビーに大きく掲出しました。また、ポスター掲示の優先順位や内容の統一性等見やすいレイアウトを考えた陳列に努めるとともに、内容ごとに担当を決め、定期的なチェック体制を図る等の業務改善に取り組んでいます。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

・雇用保険を受給中の方に対し、給付制限期間中を含めて積極的に求人情報を提供して、再就職支援に取り組みます。
・求人充足のための打ち合わせを積極的に開催して、求人充足に向けた事業主へのフォローアップを図るとともに、職員による積極的な事業所訪問を行い、マッチングにより求職者に求人情報の提供を行い応募者の確保に取り組みます。
・所内会議室を会場とした「伊那チャレ面接会」の計画的な開催により就職（充足）促進に取り組みます。
・新規求職者確保のため、受付窓口で必ず一言窓口誘導のための声掛けを行うこととします。

（４）その他業務運営についての分析等

・若者人材（労働力）確保のため、管内地方自治体・経済団体・金融機関で構成する「上伊那地域若者人材確保連携協議会」と連携して、就職面接会や企業説明会を開催して労働力確保に取り組みました。
・当所管内の特徴として、新規求人に占める正社員求人の割合が低いことから、安定した雇用が確保できるよう正社員求人等の求職者ニーズに沿った求人の開拓に取り組みます。

2　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　特記事項

若年人材（労働力）確保のため、管内地方自治体・経済団体・金融機関で構成する「上伊那地域若者人材確保連携協議会」と連携して、就職面接会や企業説明会を開催して労働力確保に取り組みます。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人者に対する紹介率	求職者に対する紹介率	障害者の就職件数	正規雇用に結びついたフリーター等の就職件数	正社員求人数	正社員就職数
実績	3,024	2,925	839	97.0%	94.2%	30.1%	21.1%	22.7%	159	432	6,551	1,512
目標	2,930	2,868	871	90.0%	90.0%	25.8%	25.3%	23.1%	164	299	5,510	1,391
目標達成率	103%	102%	96%			117%	83%	98%	97%	144%	119%	109%
（参考）過去3年度平均	3,080	3,026	819									

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク篠ノ井　就職支援業務報告（平成２８年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、職員が求人・求職のマッチング精度を高めるために、「求職者担当制」による職業相談や、職業紹介業務の職員による事業所訪問等に取り組みました。

特に求人事業所への訪問により、求人票の記載内容の把握と事業所画像情報を収集し、職業相談時や求人閲覧端末により公開して、求職者の職業理解による適格な職業紹介に努めました。

また、求職者に対し、書類選考対策として応募書類作成支援や、面接に自信のない方へ模擬面接の実施を働きかけて、確実な送り出しに取り組みました。

一方、職員の就職支援のスキルアップを図るため、「朝いちミニ研修」を毎月定期的に実施し、求人内容の理解を深める専門研修などハローワーク職員のプロ意識をレベルアップするため幅広い研修に力を入れました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

平成２８年３月に導入した「窓口案内システム（ボイスコール）」により、窓口利用者のスムーズな誘導が図られ、待ち時間を意識した業務を行うよう改善を図りました。

求職者が減少する中で、ハローワークの利用を高める方策として、月末に無効となった求職者にハローワークから案内文を送り、ニーズの掘り起こしを行い、ハローワークへの誘導に取り組んでいます。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

求人充足対策としては、毎週１回開催している求人充足会議において、充足できない要因の分析と改善策等を検討して求人者へ働きかけ、より実効性のある充足サービスを展開することとしています。特に、求職者ニーズの高い正社員求人等を対象として、ミニ面接会の開催を増やし、採用の機会拡大を図ったり、求人事業所を積極的に訪問して、仕事内容が分かる画像を収集して応募の促進に取り組みます。

就職促進対策としては、求職者担当制を活用した求人とのマッチングに力を入れ、求職者へ求人情報をお送りして応募の促進に取り組みます。

（4）その他業務運営についての分析等

当所管内の求人受理状況は、対前年比においてほぼ順調な伸びを示し、特に主要産業である製造業を中心に正社員求人が比較的多く、求人全数に占める正社員求人の割合が他の地域より高い状況が続いていることから、求人開拓及び求人充足の重点を正社員に置き、マッチングによる充足（就職）促進に取り組みました。

また、人材確保が難しい介護・看護・保育分野の求人充足を進めるためミニ面接会を６回開催し、これら職種を希望する求職者の就職支援に取り組みましたが、平成 29 年度は、対象職種等を見直し毎月定期的に開催いたします。

２　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　特記事項

当所管内の地方自治体や経済団体、事業主団体と連携して、高等学校生徒を対象とした事業所視察や大学生等を対象とした就職面接会を開催して、新規学卒者の地元企業への就職促進に取り組みます。

４　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人者に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	ハローワークの職業紹介により正規雇用に結びついたフリーター等の件数	介護・看護・保育分野の就職件数	正社員就職数
実績	2,956	3,215	746	98.0%	100%	27.1%	25.7%	25.3%	63	445	383	1,383
目標	3,057	3,229	780	90.0%	90.0%	23.1%	27.4%	25.8%	42	406	363	1,428
目標達成率	97%	100%	96%			117%	94%	98%	150%	110%	106%	97%
（参考）過去3年度平均	3,191	3,291	802									

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク飯山　就職支援業務報告（平成 28 年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職及び充足件数の目標達成、特に正社員求人の確保と正社員就職の促進、若者の雇用対策の推進を重点に掲げ、双方向性の求職者担当制や応募種類の作成、模擬面接による支援や、マッチング精度を高めるために事業所訪問による求人票の記載内容の把握、事業所画像情報等の収集を行うとともに、「求人充足検討会議」（毎週１回）における充足支援策の検討、職員間での情報共有を図り、求職者に対する求人票以上の情報提供を意識しながら業務に取り組みました。

また、若者に対する支援では、所重点指標としては掲げなかったものの、正規雇用に結び付いたフリーター等の就職数の目標達成を重点に置き、正社員求人の確保及びマッチングの強化に取り組みました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、「案内表示」「わかりやすい陳列」や「事業所に関する詳細情報、求人の確保・開拓」に期待する求職者からの声が多かったことから、案内表示板の配置、陳列物の見直しを行い、事業所画像情報等の追加、更新のほか、求職者の利便性を考慮し企業説明会を本所のほか「中野市地域職業相談室」において開催しました。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

求人充足対策として、「求人充足検討会議」を効果的・効率的に運営するため、「求人担当制」との連携を図り積極的に取り組むとともに、支援メニューの検討において、より実効性のある充足サービスを展開していくこととします。

また、引き続き、求人票記載内容以上の詳細な事業所情報によりマッチング精度を高め、事業所情報の収集・整備や職員間の共有を図り、ハローワークならではの事業所情報を求職者に提供していきます。

併せて、企業説明会のほか、就職支援セミナーについても「中野市地域職業相談室」において開催していくこととします。

（４）その他業務運営についての分析等

当所管内は、例年１０月から翌年２月頃までの冬期間においては、スキー場関連、ホテル・旅館等からの季節求人が多数申し込まれるため、

有効求人倍率も高くなる傾向にあり、通年雇用の促進が課題となっています。
　このため、地方ローカル紙２社に管内の雇用情勢や求人情報、職業訓練関係情報などを積極的に発信し、事業主や地域住民の皆様に管内の雇用情勢を知ってもらい、ハローワークを利用していただくよう広報に力を入れてきました。
　今年度においては、新規求職者数（パートを含む常用）は前年度比で大きな落ち込みはなく、有効求職者数（同）も微増となりましたが、今後の新規求職者の動向を注視しながら、今年度同様、求職者のニーズを把握し、職業紹介に結び付けられるよう窓口相談の確保・充実を図っていきます。

２　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	1,508	1,318	363	96.3%	94.7%	36.7%	22.0%	22.9%	52	2,710	640
目標	1,434	1,239	366	90.0%	90.0%	31.6%	23.4%	24.7%	46	2,202	642
目標達成率	105%	106%	99%			116%	94%	93%	113%	123%	100%
（参考）過去3年度平均	1,505	1,275	355								

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク木曽福島　就職支援業務報告（平成 28 年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では「就職件数」及び「求人充足件数」を特に重点的に進めることとし、日々の求人・求職の照合によるマッチングや担当者制による定期的な求人情報の提供、来所相談勧奨・紹介を行いました。また、正社員求人の確保や就職面接会、ミニ面接会を開催するなどして目標件数を達成しました。

なお、ミニ面接会は、事業所見学を併せて実施することにより、「詳細な仕事内容、求人事業主の経営方針・職場の雰囲気などを知ったうえで応募できる」、「求める人材の確保に役立った」など、求人者及び求職者双方から評価を得ています。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

労働力人口が減少する中、若者の地元定着と労働力確保（特に若年労働力）が地域の課題との声を受け、小規模所ではありますが、帰省シーズンの８月に「就職面接会」を開催しました。さらに、当地域では高校生の地元就職率が低いことから、本年度の新規の取り組みとして「高校生の地元企業の見学会」を３月に開催しました。

また、毎週発行している「週刊ホット求人情報」に加え、「正社員求人情報（年２回、帰省シーズンに発行)」、看護・介護・保育の「ふれあい求人情報（月１回)」、未充足求人情報の「採用チャンス求人情報（月１回)」を発行しました。さらに、週刊ホット求人情報の余白に職業訓練・ミニ面接会の開催案内を掲載するなど、就職に関する情報誌としても活用いたしました。

なお、当所ではペーパーによる求人公開を行っており、公開区分を利用者に分かり易いよう見直しを行いました。

利用者アンケートで、職業相談時の声量調整の必要性などプライバシーに配慮した相談の実施について指摘があったことから、職員研修や意識啓発カードを作成・携帯するなど、プライバシーに配慮した対応を日常的に意識するよう取り組みました。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

求職者数が減少する中、いかに効果的にマッチングを図っていくかが課題であり、ミニ面接会の開催や日々の相談業務において、求人情報の提供等きめ細やかな対応に取り組みます。また、人手不足が顕著となっている介護・看護分野への就職促進を図るため、福祉ジョブセミナーの周知と参加勧奨等に積極的に取り組むとともに、福祉人材求人情報を定期的に発行します。

特に、ミニ面接会を機動的に開催し、求人者と求職者の「出会いの場」を増加させ、就職と定着及び求人充足の促進に努めます。また、就職面接会を引き続

き木曽地域と岐阜局内の隣接所との共催により中津川市でも開催します。

（4）その他業務運営についての分析等

中長期的な課題として、管内人口の減少に伴う労働力人口の減少や雇用失業情勢の改善等により、求職者数が減少する動きの中にあって、通勤可能な管外地域に就職する求職者も一定数いることから、今後、管内の労働力不足が顕著となることが予想されます。このため、関係機関と連携した地元就職の促進等、地域の雇用の安定に取り組む必要があると考えています。

また、本年度の課題として、開拓求人の充足件数に伸び悩みがみられるため、事業所訪問等により企業情報を的確に把握し、正社員を中心とした求職者ニーズも踏まえた求人開拓・個別求人開拓に取り組みます。

2　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	正社員就職件数	正社員求人数	介護･看護･保育分野の就職件数
実績	366	325	90	94.0%	93.9%	49.8%	16.3%	17.3%	168	915	32
目標	352	325	99	90.0%	90.0%	42.3%	18.8%	18.7%	156	781	40
目標達成率	104%	100%	91%			118%	87%	93%	108%	117%	80%
（参考）過去3年度平均	370	346	98								

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク佐久　就職支援業務報告（平成 28 年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数、充足件数等の重点指標は各取組の成果の結集によるものとし、全所的な取組が最重要と考え、所重点項目において紹介・専門援助・求人の各部門から一つ以上選択し、各々の目標達成に向け取組みました。

・正社員求人数については、求人窓口、事業所訪問時における求人確保依頼やその充足可能性の説明、さらに事業主や事業主団体が出席するあらゆる会議・セミナー等の機会を捉え、非正規から正社員求人転換への必要性の周知等を行った。

・正社員就職件数については、求人情報表示の工夫や、応募書類の添削、模擬面接支援などを積極的に行ったが、確保出来た人手不足分野を主とする求人に対し、就職希望職種とのミスマッチや求人条件となる資格・経験等のミスマッチから思うような実績を得ることが出来なかった。

・雇用保険受給者の早期再就職件数については、認定日前日のマッチングによる提案求人の準備や給付制限中の受給者への情報提供と来所勧奨、初回講習を従来の雇用保険の説明会と分離開催して時間を確保し、早期再就職の優位性や再就職支援セミナーへの参加の必要性を説いたほか職業訓練の受講勧奨等も積極的に実施した。

・障害者の就職件数については、関係機関と連携し継続したチーム支援や積極的な同行紹介による事業主への支援制度の情報提供等を行った。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

・確保した求人に対する求人者との信頼関係構築の観点からも正社員求人を主に前年度において不十分であった求人者担当制の取組を強化しました。

・当所の地域性に鑑み比較的郡部（南佐久地域）において、地域におけるハローワークの存在感の向上や求職者の掘り起しを目指し、新たに郡部での就職面接会を実施しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

・正確な求人、魅力ある求人の確保と早期充足に向けて軌道に乗り始めた求人者担当制の更なる充実を目指すほか、併せて真に効果のある求人充足会議の在り方について紹介・求人両部門間で検討し取り組んで行きます。

・雇用保険受給者の早期再就職に向け、雇用保険の説明会と分離開催している初回講習は非常に有効な場であるため、早期再就職の意欲向上に向け更なる工夫を図って行くこととします。

なお、Ｈ２８年度のHW総合評価に係る結果については「標準」評価となったものの、「必須＋重点」指標及び「所重点」項目共にグループ平均を下回るものとなりました。この中身を見ると主要３項目の内、就職及び充足件数は目標を上回ったものの、雇用保険受給者の早期再就職件数の達成率が９２．１％と低調であり、また、重点４項目では、３項目（障害者就職件数、学卒ジョブ正社員就職、正社員求人件数、）について、目標を上回ったものの、正社員就職件数の達成率が９４．４％と低調でありました。各々１項目ずつについて、達成割合が５％以上下回った結果が平均値を下げることとなったことから、29 年度においてはこの二つの指標への取組を強化することとします。

さらに、「所重点」項目については、ポイントとなった項目数が少ないことが平均値を下回る大きな原因と解されるため、29 年度においては、今年度取り組んだものの実績（ポイント）に結びつかなかった項目の見直しのほか、「職員研修」を新たな項目として進めたいと考えます。

（４）その他業務運営についての分析等

・当所管内は過去には製造業と建設業が主力産業でしたが、近年第３次産業が急速に発展、増加しました。このため、一定年齢層以上の住民、求職者は第２次産業就業者または就業経験者が多く、現在の求人の多数を占める第３次産業の勤務条件(就業時間、休日等)が合わずに、職種や条件でのミスマッチが大きいのが現状です。このため、求人者、求職者双方へ労働市場の状況説明を継続的に行い条件緩和や、意識改革を図っていく必要があります。

・また、地域によって季節による繁閑や、交通の利・不便による地域的なミスマッチも多く見られます。特に南部の県境地域では、生活基盤が越県化しており、地理的に当所まで遠いため、求職者の利用が少ない状況（求職者は雇用保険受給者のみ）もあります。今後はこういった地域での求人開拓を積極的に進めるなど、当該地域の求人者、求職者に対しハローワークの存在感を高め利用を促進させる必要があります。

２　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　特記事項

・当所においては所の重点指標として障害者の就職件数を設定し、トライアル制度、訓練制度、助成金などの各種支援策を幅広に有効活用して取り組んだ結果、目標に対し 119%の達成を見ることが出来ました。今後も引き続き積極的な支援を継続するものの一定の成果を得たことから翌年度においては、新たな指標を設定し取組む予定としています。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	障害者就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	3,768	3,647	868	95.6%	96.4%	29.3%	20.3%	22.9%	229	229	7,989	1,604
目標	3,754	3,541	942	90.0%	90.0%	25.7%	23.0%	24.3%	192	197	6,497	1,700
目標達成率	100%	103%	92%			114%	88%	94%	119%	116%	123%	94%
（参考）過去3年度平均	4,020	3,778	939									

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大町　就職支援業務報告（平成 28 年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「生活保護受給者等の就職件数」、「ハローワークの職業紹介により正社員に結びついたフリーター等」、「正社員就職件数」の取組の目標達成を最重要と考え、重点的に進めることとしました。

「生活保護受給者等の就職件数」については、大町市と北安曇福祉事務所へ定期的な巡回相談（10 回）を実施したほか、信州パーソナル・サポート事業大北圏域の支援調整会議に参加（12 回）するなど福祉機関や自立相談支援事業者と連携した就労支援を実施しました。

また、児童扶養手当受給者の現況届の提出時期に併せ、出張相談（大町市、松川村）を実施し対象者の掘り起しを図りましたが、支援対象者数は 44 人に留まり、就職件数は目標 42 人に対し 34 人でした。

「ハローワークの職業紹介により正社員に結びついたフリーター等」については、未内定学生や既卒者等に対し個別の就職支援を積極的に行い学卒ジョブの支援による正社員就職件数は、目標 54 件に対し 80 件となりました。

また、長野県大町地方事務所、管内全市町村並びに事業主団体等と共催し、ＩＵターン希望者と新規学卒者等を対象とした企業説明会を 5 月に開催しました。昨年は 8 月に就職面接会として開催したものを、新規学卒者の選考開始時期が前倒しとなったことを踏まえ、関係機関、団体等の要望等を取り入れた形で実施しました。参加企業 22 社、参加者 46 名のうち 9 名が管内企業に内定しました。また、高校 3 年生を対象に「大北の企業を知ろう！」（企業のプレゼン）も併せて開催し 29 名が参加しました。本事業は、少子高齢化が県平均より進展し若年労働力確保が喫緊の課題となっている当地域において、事業主や各高校からも好評を得、また、自治体からも事業継続の要望をいただいております。

「正社員就職件数」については、正社員求人や製造業求人を中心に所会議室においてミニ面接会を積極的に開催し、求人者と求職者の出会いの場をつくるとともにマッチングに努めました。また、求人充足会議において選定した正社員求人については、求職者への情報提供・求人者への条件緩和指導等を行い、平成 28 年度に選定した 131 件 157 人の求人のうち 72 人(充足率 46%)を就職させることができました。

求職者担当制の対象者に対して積極的に正社員求人への応募勧奨を行い、正社員就職の促進を図った。所の選択指標ではなかったものの正社員求人数は前年を 5%上回るとともに目標数も上回ったものの、就職件数は目標 345 件に対して 332 件となり目標達成には至りませんでした。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

昨年度の利用者アンケートでは、事業所に関する詳細情報を期待する意見が多かったことから、従業員の職種別年齢構成等を聴き取りにより作成した詳細な「事業所情報」の公開を開始しました。

雇用保険受給者に対する初回講習については、パワーポイントを使用したスタイルに改善することで説明内容の理解度向上に取り組みました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求人の検索方法や見方、また応募書類作成支援等についての周知が不足しているとの意見が多かったため、利用案内などについて改善を行い、周知の充実を図るとともに、積極的に声掛けを行い不明な点等についての説明を行い、窓口でのサービスへ誘導を図ることとします。

また、求人者支援メニューの周知・案内・説明、人材確保サービス全般について不足しているとの意見があったことから、求人受理時に交付する案内を改訂し、求人者支援メニューの周知及び充実を図り、求職者の状況を提示しながら条件緩和に努め、紹介見込情報の提供等早期充足に向けた取り組みを実施することとします。

（4）その他業務運営についての分析等

管内は、製造業が少なく建設業のほかスキー場や飲食宿泊関連等の季節求人が多く、職種によるミスマッチが顕著化しています。また、有効求職者は減少傾向であるものの、製造関係の正社員求人を希望する在職求職者が増加しているため、雇用形態においてもミスマッチが進んでいます。

そのような中、紹介担当職員による事業所訪問を７８事業所に対して実施、事業所の状況や求人職種等の情報収集、共有を図ることにより紹介担当職員のマッチング能力等の向上を図りました。今後は、求職者担当制によるマンツーマンのきめ細やかな就職支援を実施することにより求人求職のマッチングを図るほか、対象求職者のニーズを的確に把握し、個別求人開拓を含めた求人開拓を図り、求人・求職情報の積極的な提供、提供後のフォローアップの実施を行いマッチングの精度を高め、相談・紹介件数の増加を図ることといたします。

充足件数については、紹介担当職員の事業所訪問の実施、求人に対する担当者制の実施により充足件数の向上を図りましたが、職種によるミスマッチや管外である安曇野市方面を希望する求職者が多く目標未達成となりました。事業所静止画像の収集、正社員求人への転換や条件緩和依頼を実施し、「応募したくなる求人」化に努め、充足件数の向上を図ることといたします。

２　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いたフリーター等の件数	正社員就職件数
実績	916	729	242	95.8%	94.6%	35.6%	19.5%	22.7%	34	80	332
目標	890	783	255	90%	90%	28.1%	21.9%	24.9%	42	54	345
目標達成率	103%	93%	95%			127%	89%	91%	81%	148%	96%
（参考）過去3年度平均	937	797	257								

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク須坂　就職支援業務報告（平成 28 年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

求職者が減少傾向にある中で、一人でも多くの求職者に登録していただき、紹介から就職に結びつけるために、職員の意見を取り入れつつ、次の取り組みを行った。①面接を成功させるための心得を伝授するために、「就職面接完全攻略」を作成・配付した。②無効求職となった方に対するダイレクトメール（求人票）を送付し、来所・再登録を勧奨した。③自治体や関係機関の協力の下で、各ホームページや広報誌等に当所の利用勧奨チラシの掲載を依頼した。④求人公開パソコンの画面上に、相談窓口への案内のためのコメントを掲載した。⑤その他にも職員から各種の意見もあったが、今後も実現が可能で、かつ、効果が期待できる取り組みを実施したい。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

企業における人手不足感が強い状況下において、求人充足サービスの強化が求められる。そこで、より多くの求職者の方に安定所を利用していただきたいことから、特に、初めて安定所を利用される方への最善、かつ、的確なサービスを行うことを目的に、総合受付での「プレ相談」に使用する、「プレ相談票」を作成・設置した。この効果としては、①求職者の主訴を聞き漏らすことなく職業相談に移行するとで、安定所への信頼感の高まりが期待できる。②小規模所であるため、専門の「プレ相談窓口」の設置が困難であるが、本票を用いた方式により、総合受付担当者の業務に厚みが出る。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

今後のサービス改善・業務改善の取組については、以下のことを強化して参りたい。

①模擬面接：求職者の中には面接に不安を抱える方も少なくないことから、特に４５歳未満の方を対象に「模擬面接」を積極的に行って参りたい。

②求人充足会議：求人充足会議の必要性に鑑み、会議への出席者数には余り拘らず（２～３人を想定)、実施回数を増やすことを意識して、早期の求人充足サービスを図って参りたい。

（4）その他業務運営についての分析等

雇用保険受給者の早期再就職について、当所は良好な成績を上げていると考えるが、その要因を分析すると以下のようなことである。これについては、当所の特徴であり、かつ、強みでもあるため、今後もこれら取り組みを継続して参りたい。①受給資格決定時に求人検索と求人情報提供を行い、初回認定日にはそれを基に職業相談を実施している。②再就職時期と再就職手当の関係性を受給資格者の個々に示した「あなたの再就職プラン」を作成・配付する。③当所管内は女性や高齢者の就業率も高く、人々の就業意欲が比較的高い環境下において、前記①と②を複合的に取り組むことで、今後も早期再就職の促進を図ってまいりたい。

2　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介成功率	求職に対する紹介成功率	正社員求人数	正社員就職件数	介護･看護･保育分野の就職件数
実績	1,614	1,470	358	100.0%	95.7%	30.3%	23.8%	24.7%	3,235	697	173
目標	1,556	1,395	306	90.0%	90.0%	24.3%	26.0%	27.3%	2,554	674	164
目標達成率	104%	105%	117%			125%	92%	90%	127%	103%	105%
（参考）過去3年度平均	1,604	1,437	304								

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク諏訪　就職支援業務報告（平成２８年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重点と捉え、当所会議室において求職者の再就職支援のための「再就職ガイドセミナー」を年間 89 回開催するとともに、セミナー終了後には充足可能性の高い正社員求人等提出事業所に対してプレゼンテーション参加を求めたミニ面接会（管理選考）をセット開催しました（再就職ガイドセミナー＆ミニ面接会 89 回、ミニ面接会による就職件数 65 件）。また、単独のミニ面接会も年間 79 回開催（就職件数 43 件）するなど、直接的な接触機会を増やすことで、求職者や参加した事業所から高い評価を得ています。これらミニ面接会の継続及び改善を図りながら、さらなる推進を図っていきたいと考えています。

さらに、昨年度に引き続き、職業相談等に携わる職員・相談員のマッチング能力向上研修、求職者担当制（双方向性を含む）などの取組を行いました。特にマッチング能力向上研修は年間 72 回開催し、この取組により得られた職業相談の資質向上が、紹介成功率の向上（H27 年度 26.8%⇒H28 年度 31.1%）に結びつき、求職者・事業所双方から評価をいただいています。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

平成 29 年 3 月に「窓口案内システム（ボイスコール）」を導入し、窓口利用者の順番待ちや待ち時間の状況を把握することが容易になり、職員による窓口利用者の呼び出しが一層スムーズに行えるように改善を図りました。また、スマートフォン等によって庁舎外からも事前に窓口の待ち時間の状況が確認できることとなりました。

また、雇用状況が改善し一部に人手不足感が強まる中、特に人手不足が顕著な介護福祉分野に焦点を当て、求職者の多様な働き方の希望に理解を示す求人事業所を集めたミニ面接会を 3 回開催しました。さらに、農業分野のミニ面接会も同様に 1 回開催し、求人者・求職者双方からプレゼンテーションを実施するなどして、お互いの理解を深めることができました。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

再求職ガイドセミナーとのセット開催を含めたミニ面接会を年間 168 回開催しましたが、更に、求職者がより応募する可能性の高い事業所の参加を促すとともに、職員等を同席させるなど、参加事業所の社風や求人内容の把握の場としても活用し、求職者への情報提供に努めます。

また、人手不足分野の求人事業所を対象とした面接会も設定し、求人条件緩和指導を含めた採用機会の拡大を促しつつ、求人充足の機会としても捉えていくこととします。

（4）その他業務運営についての分析等

正社員求人数は 7,616 件と目標数（6,537 件）を達成しましたが、今後も認定日前日に行っている事前照合をはじめとして積極的なマッチングを行い、正社員求人への応募勧奨を推進するとともに、求職者ニーズを踏まえた良質正社員求人の確保に努めます。

また、人手不足が顕著で充足件数の少ない介護福祉分野等のミニ面接会を今後も積極的かつ計画的に実施し、求人の充足促進を図ります。

2　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　特記事項

当所会議室を利用したミニ面接会開催時には、所内放送により来所求職者へ面接会参加をアナウンスしています。また、セミナー終了後にミニ面接会を設定したり、求人公開端末にも案内を掲載したりするなど、参加求職者を確保するために広く情報提供しています。

採否結果通知書に所独自に「採用した決め手」記入欄を設け、事業所からのコメントを収集・分析し、それを基に面接対策等に活用する効果的なアドバイス資料を作成し、職業相談時に活用しています。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	生活保護受給者等の就職件数	フリーター等の就職件数	正社員就職件数	正社員求人数	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率
実績	3,568	3,559	859	99.3%	96.9%	31.1%	160	437	1,673	7,616	22.2%	22.4%
目標	3,680	3,554	926	90.0%	90.0%	24.9%	110	433	1,642	6,537	26.4%	24.1%
目標達成率	97%	100%	93%			125%	145%	101%	102%	117%	84%	93%
（参考）過去3年度平均	3,750	3,752	925									

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

別 添 3

平成29年度ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善に係る目標数値

長野労働局

○【主要指標】 マッチング機能に関する指標 （全安定所が取り組む）

就職件数（常用）

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曽福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H29年度目標	**33,591**	**4,534**	**5,752**	**3,386**	**2,835**	**2,922**	**2,927**	**1,457**	**356**	**3,559**	**836**	**1,537**	**3,490**

（ハローワークの紹介で常用就職した件数）

充足件数（常用・受理地ベース）

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曽福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H29年度目標	**33,219**	**5,129**	**5,600**	**3,369**	**2,703**	**2,834**	**3,079**	**1,265**	**316**	**3,420**	**702**	**1,383**	**3,419**

（ハローワークが受理した常用求人の充足件数）

雇用保険受給者の早期再就職件数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曽福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H29年度目標	**8,816**	**1,144**	**1,749**	**854**	**746**	**765**	**773**	**342**	**94**	**879**	**238**	**318**	**914**

（雇用保険の基本手当の所定給付日数を3分の2以上残して早期再就職する件数）

○【補助指標】 マッチング業務の質を測定する指標 （全安定所が取り組む）

求人者向け調査における満足度

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曽福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H29年度目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上

単位：%

求職者向け調査における満足度

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曽福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H29年度目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上

単位：%

求人に対する紹介率

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曽福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H29年度目標値	22.0	20.8	22.9	22.5	22.1	21.1	25.7	22.0	16.3	20.3	19.5	23.8	22.2

単位：%

求職者に対する紹介率

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曽福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H29年度目標値	22.9	23.6	22.2	22.0	22.2	22.7	25.3	22.9	17.3	22.9	22.7	24.7	22.4

単位：%

○【所重点指標】 地域の課題を踏まえ、特に重点的に成果を挙げる必要がある業務に係る指標

（区分されるグループ毎に指定された数を選択して取り組む） 選択する安定所

正社員求人数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曽福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H29年度目標	78,474	11,779	13,780	7,612	7,267	6,662	7,588	2,645	942	7,949	1,326	3,155	7,769

正社員就職件数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曽福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H29年度目標	14,666	1,920	2,634	1,490	1,323	1,301	1,285	571	150	1,509	311	631	1,541

生活保護受給者等の就職件数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曽福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H29年度目標	720						40			101			100

障害者の就職件数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曽福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H29年度目標	2,063	315	393	204									

学卒ジョブの支援による正社員就職件数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曽福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H29年度目標	2,843	705				158				196			

正規雇用に結びついたフリーター等の就職件数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曽福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H29年度目標	3,880				216	371	419	203			64		413

マザーズハローワーク事業の担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曽福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H29年度目標	89.4	89.4	89.4	89.4	89.4								

単位：%

介護・看護・保育分野の就職件数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曽福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標	3,600		685						37			156	

目標達成に向けた主な取組内容

就職件数	➢ 求職者担当制の実施 【双方向性の求職者担当制の実施】 専任実施担当者を決め、予約相談等により原則マンツーマンで相談を行い、求職者の課題の把握、積極的なマッチングによる求人情報 の提供、応募書類作成支援等、個別のニーズに合わせたきめ細かな就職支援を実施する。 【双方向に限らない（一方向性）求職者担当者制の実施】 実施担当者は、常に対象求職者の求職活動状況を把握して、的確なマッチングによる求人票の送付等による来所勧奨を行い 就職促進を図る。 ➢ 紹介部門職員の事業所訪問 月単位・年間単位で訪問計画を定め、訪問後のマッチングを念頭に、仕事内容や求人者ニーズの把握を行う。また、求職者の 動向等を伝え、充足のための求人条件緩和を肯定的に提案していく。
求人充足件数	➢ 求人に対する担当者制の実施 求人部門の職員等が、求人開拓した正社員求人、条件緩和指導に応じた求人及び人材確保が必要な業種における正社員求 人を中心に、求人担当者制による早期の求人充足を図る。 ➢ 管理選考（ミニ面接会）の実施 主に正社員求人を提出した求人者を対象に、求人・職業紹介部門が連携して安定所が主体的に運営を行い求人充足を図る。 ➢ 事業所画像情報の収集 求職者に対して、求人票以上の事業所情報の提供を目的として、画像情報の収集・提供を行う。数年前に撮影された画像情報のメンテナンスも必要であるため、求人票の提出に合わせて職場環境等の変化に伴う新たな画像情報の収集も図る。 ➢ 職員及び求人者支援員の事業所訪問 月単位・年間単位で訪問計画を定め、事業主との信頼関係の構築、管内雇用動向の把握、仕事内容の理解、正社員求人の確保等のため、求人者支援員はもとより、求人部門の職員、所長等幹部職員も積極的に事業所訪問を実施する。
雇用保険受給者の早期再就職件数	➢ 早期あっせん対象者に対する求人情報の提供 早期あっせん対象者に対し初回認定日までに事前マッチングを経た求人情報を提供する。 ➢ 双方向性の求職者担当者制の実施 緊要度が高く、個別支援により早期再就職が期待される求職者について、正規職員による双方向性の求職者担当者制を実施する。